
7 1 0 7. 内航船フィーダー運送陸揚登録

業務コード	業務名
C Y U	内航船フィーダー運送陸揚登録

1. 業務概要

内航船単位(内航船船舶コード+内航船船舶名+内航船航海番号+揚地CY)に、コンテナの陸揚(搬入)登録を行う。

搬入時申告または輸出申告搬入後処理の自動起動を行う旨が登録されている貨物について、システムで定めた条件を満たしたとき、システムは本業務を契機に申告処理(輸入申告、保税運送申告、輸入畜産物検査申請等)を自動起動する。

なお、システム処理されてない輸入コンテナについては「システム外CY搬入確認(コンテナ単位)(CYB)」業務または「システム外CY搬入確認(B/L単位)(CYD)」業務で行う。

2. 入力者

CY

3. 制限事項

登録可能なコンテナ数は、「内航船船舶コード+内航船船舶名+内航船航海番号+揚地CY」あたり1200件とする。

4. 入力条件

(1) CYU業務の場合

(A) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②システムで保税運送処理され、運送されてきた輸入コンテナまたは仮陸揚コンテナの陸揚(搬入)の場合は、保税運送申告DBに陸揚(搬入)先として登録されている利用者であること。

(B) 入力項目チェック

(a) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(b) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(C) 船舶(内航船)DBチェック

入力された内航船船舶コードに対する船舶(内航船)DBが存在すること。

(D) 船舶DBチェック

入力された外航船積載予定船舶コードに対する船舶DBが存在すること。

(E) 内航船フィーダー運送情報DBチェック

入力された内航船船舶コード、内航船船舶名、内航船航海番号及び入力者の管理する保税地域コードに対して内航船フィーダー運送情報DBが存在する場合、以下のチェックを行う。

- ①本業務または「内航船フィーダー運送陸揚登録(CYL)」業務にて内部処理中でないこと。
- ②入力されたコンテナ番号が登録されている場合、陸揚(搬入)済みでないこと。
- ③入力されたコンテナ番号が登録されている場合、CYU業務実施不可^{*1}のコンテナとして登録されていないこと。

(※1) CYL業務で以下の条件を満たす貨物情報が関連付けられたコンテナまたは、空コンテナを積込(搬出)したもの。

- ・輸入許可
- ・輸入許可前貨物引取承認
- ・輸入(引取)許可

(2) CYU業務正常終了後の内部処理の場合

(A) コンテナ情報DBチェック

入力されたコンテナ番号に対して以下のチェックを行う。

- ①当該コンテナ番号に対するコンテナ情報DBが存在すること
- ②輸入コンテナまたは仮陸揚コンテナで、かつ実入コンテナとして登録されている場合は、入力者の管理する保税地域に向けて搬出された旨が登録されていること。
- ③輸出コンテナで、かつ実入コンテナとして登録されている場合は、搬出された旨が登録されていること。（入力者の管理する保税地域に向けて搬出されていなくてもよい。）
- ④入力者が管理する保税地域において陸揚（搬入）確認済となっていないこと。

(B) 貨物情報DBチェック

入力されたコンテナ番号に対するコンテナ情報DBが存在し、貨物管理番号^{*2}が登録されていた場合は、以下のチェックを行う。

- ①当該貨物管理番号に対する貨物情報DBが存在すること。
- ②輸入コンテナまたは仮陸揚コンテナの場合は、保税運送承認済でかつ発送地における搬出確認の旨が登録されていること。
- ③輸出コンテナの場合、VAN業務等による搬出でないこと。

(※2) 貨物管理番号とは、B/L番号または輸出管理番号のことをいう。

5. 処理内容

(1) CYU業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(B) 内航船フィーダー運送情報DB処理

- ①内航船フィーダー運送情報DBが存在しない場合、内航船フィーダー運送情報DBを作成する
- ②入力されたコンテナ番号がCYに陸揚（搬入）された旨を登録する。

(C) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(D) 内部処理起動処理

処理対象のコンテナ番号を1コンテナごとに分割し、内部処理を行う。

(E) 注意喚起メッセージ出力処理

- ①内部処理を実施している旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。
- ②本業務の実施日と入力された陸揚（搬入）年月日の差が7日以上の場合に、その旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。
- ③本業務の実施日が所要時間調査期間中である旨がシステムに登録されており、陸揚時刻が入力されていない場合は、注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

(2) CYU業務正常終了後の内部処理の場合

(A) コンテナ情報DB処理

- ①入力内容により更新する。
- ②CYに陸揚（搬入）した旨を登録する。

(B) 貨物情報DB処理

入力されたコンテナ番号に対して貨物管理番号が登録されていた場合は、CYに陸揚（搬入）した旨を登録する。

(C) 保税運送申告DB処理

入力されたコンテナ番号に関連付けられている貨物管理番号に係る貨物情報DBから保税運送申告番号（個別運送管理番号または特定保税運送番号を含む。以下同様。）を取得し、当該保税運送申告番号に対する保税運送申告DBに到着確認した旨を登録する。

(D) 申告の起動処理

(a) 輸出申告の起動処理

搬入時申告を行う旨が登録されている場合は、入力されたコンテナ番号に係る貨物管理番号の貨物に対して輸出申告処理を自動起動する。

詳細は「輸出申告（EDC）」業務を参照。

(b) 輸出申告搬入後処理の起動処理

輸出申告搬入後処理の自動起動を行う旨が登録されている場合は、入力されたコンテナ番号に係る貨物管理番号の貨物に対して輸出申告搬入後処理を自動起動する。

詳細は「輸出申告搬入後処理（CEW）」業務を参照。

(c) 輸入申告の起動処理

詳細は「輸入申告（IDC）」業務を参照。

(d) 保税運送申告の起動処理

詳細は「保税運送申告（OLC）」業務を参照。

(e) 輸入畜産物検査申請自動起動処理

輸入畜産物検査申請（到着後申請自動起動）の旨が登録されている場合、B/L番号単位に輸入畜産物検査申請（到着後申請）を自動起動する。

(E) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(F) 注意喚起メッセージ出力処理

VAN業務等が既にされていたときに、登録済みの積載予定船舶コード、航海番号と本業務で入力された外航船積載予定船舶コード、外航船航海番号が異なる場合は、本業務を優先して登録し、積載予定船舶コード、航海番号の変更がされた旨を注意喚起メッセージとしてエラー通知情報に出力する。

6. 出力情報

(1) CYU業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者

(2) CYU業務正常終了後の内部処理の場合

情報名	出力条件	出力先
エラー通知情報（陸揚情報）	なし	入力者
内航船フィーダー運送陸揚コンテナ情報	内部処理において、処理対象のコンテナが1件以上正常終了した場合	入力者
危険貨物等通知情報	入力されたコンテナ番号に関連付けられた貨物管理番号の貨物情報DBに危険貨物等コード（税関要通知）が登録されている	揚地CYの管轄税関（保税担当部門）
事故貨物通知情報	貨物が保税運送期間を経過している	揚地CYの管轄税関（保税担当部門）

情報名	出力条件	出力先
		輸出申告を行った利用者 または運送を登録した利用者
コンテナ通知情報	コンテナ情報DBに登録されている搬入先と本業務 による揚地CYが異なる	入力者
搬入先差異情報	コンテナ情報DBに登録されている搬入先と本業務 による揚地CYが異なる	積地CYを管理する利用 者またはCYO業務を行 った利用者
		積地CYまたは発送地の 管轄税関 (保税担当部門)